

## 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

彩の国東大宮メディカルセンターでは、当院の倫理・臨床研究治験委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

研究課題名 (研究番号)	薬剤性間質性肺疾患の発症に関するバイオマーカーの探索研究 (No.39)
研究責任者 (所属)	清水裕 (薬剤部)
研究実施期間	2021/9/10～2026/3/31
研究等の概要	<p>薬剤性間質性肺疾患を発症した患者のゲノム DNA を集積し、遺伝子多型を解析して各多型の頻度を明らかにし、これと健常人又は薬剤を服用して薬剤性間質性肺疾患を発症しなかった患者群 (対象群) における多型頻度とを比較する等の方法により、薬剤性間質性肺疾患の発症に関連するバイオマーカーとなる遺伝子多型を明らかにすることを目的とする研究</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・研究方法：上腕より 10mL の採血を行い、遺伝子解析を実施する。</li><li>・主幹機関：国立医薬品食品衛生研究所</li></ul> <p>所外共同研究機関：信州大学医学部内科第一講座、付属病院呼吸器センター・呼吸器・感染症内科教室、神戸大学大学院医学系研究科内科学講座腫瘍・血液内科学分野、非特定医療機関 (全国の病院)</p> <p>全体目標症例数：薬剤性間質性肺疾患症例：200 例 医薬品を服用しても薬剤性間質性肺疾患を発症しなかった患者：200 例 当院目標症例数：薬剤性間質性肺疾患症例：2026 年 2 月までに発症した症例。</p>
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

問い合わせ窓口

臨床研究事務局

電話：048-665-6111